

TiFRONTクラウドセキュリティスイッチ ハードウェア仕様 (TiFRONT CSシリーズ SPEC v1.0.3)

製品モデル	TiFRONT-CS2412GP	TiFRONT-CS2710G	TiFRONT-CS2728G	TiFRONT-CS2728GP	TiFRONT-CS2728GX	TiFRONT-CS3852GX	
製品画像							
インターフェース	最大ポート数	12	10	28	28	28	52
	10/100Base-TX	—	—	—	—	—	—
	10/100/1000Base-T	10	8	24 (*1)	24 (*1)	24 (*1)	48 (*1)
	1000BASE-X SFP	2	2	8 (*1)	8 (*1)	4 (*1)	—
	10G SFP+	—	—	—	—	4	4
	管理ポート (*3)	1	1	1	1	1	1
コンソールポート (*4)	1	1	1	1	1	1	
処理能力	最大スイッチ容量	100Gbps	140Gbps	140Gbps		140Gbps	256Gbps
	最大スループット	35.71Mpps	29.76Mpps	83.33Mpps		190.48Mpps	261.91Mpps
	MACアドレス登録数	16K	16K	16K		16K	32K
	ジャンボフレーム	12K	9K	9K		9K	12K
メモリ	フラッシュメモリ	256MB (OS 128MB, Log Buffer 128MB)	512MB (OS 256MB, Log Buffer 256MB)	512MB (OS 256MB, Log Buffer 256MB)		512MB (OS 256MB, Log Buffer 256MB)	256MB (OS 128MB, Log Buffer 128MB)
	メインメモリ	512MB	512MB	512MB		512MB	1GB
PoE規格	PoE	IEEE802.3af	—	—	IEEE802.3af	—	—
	PoE+	IEEE802.3at	—	—	IEEE802.3at	—	—
	UPoE (60W)	—	—	—	IEEE802.3bt	—	—
	最大給電可能電力	240W	—	—	740W(S) / 740W(D)	—	—
電源	定格電圧	AC100~240V (50/60Hz)	AC100~240V (50/60Hz)	AC100~240V (50/60Hz)		AC100~240V (50/60Hz)	
	最大消費電力 (*5) (*6)	36.7W	13.26W	28.2W(S)/29.0W(D)	54.87W(S)/80.91W(D)	30.0W(S)/31.1W(D)	59.6W(S)/59.2W(D)
	電源冗長化	—	—	○ (オプション)	○ (オプション)	○ (オプション)	○ (オプション)
	ケーブルロック	○	○	○	○	○	○
筐体	サイズ [WxDxH]	220×350×44 (mm)	220×220×44 (mm)	440×215×44 (mm)	440×420×44 (mm)	440×215×44 (mm)	440×395×44 (mm)
	筐体タイプ (*7)	ハーフサイズ (1U)	ハーフサイズ (1U)	ラックマウント (1U)		ラックマウント (1U)	
	重量 (*5)	3.6Kg	1.4Kg	2.75Kg(S)/2.9Kg(D)	7.1Kg(S)/7.3Kg(D)	2.75Kg(S)/2.9Kg(D)	5.1Kg(S)/5.3Kg(D)
	USBポート	○	○	○		○	
	ファンレス対応	—	○	—	—	—	—
動作条件	温度	0~40℃	0~55℃	0~50℃	0~40℃	0~50℃	0~50℃
	湿度	0~90% (結露のないこと)	0~90% (結露のないこと)	0~90% (結露のないこと)		0~90% (結露のないこと)	
認証・その他	EMC認証	VCCI (クラス A)	VCCI (クラス A)	VCCI (クラス A)		VCCI (クラス A)	
	IPv6対応	IPv6 ready logo (Phase2)	IPv6 ready logo (Phase2)	IPv6 ready logo (Phase2)		IPv6 ready logo (Phase2)	
	RoHS対応	RoHS Compliance	RoHS Compliance	RoHS Compliance		RoHS Compliance	

*1 内4ポートは10/100/1000 BASE-Tと1000BASE-X SFPの排他利用ポート (Dual media combo port) です。

*2 スタック機能使用時は2ポートをStackingポートとして使用します。

*3 管理ポートのインターフェースは10/100Base-TXです。

*4 コンソールポートのインターフェースはRJ-45のRS232Cです。

*5 最大消費電力・重量の表示において、(S)は電源装置が1個の場合、(D)は2個の場合を示します。

*6 PoE機能モデルの最大消費電力は、「最大消費電力+PoE規格の最大給電可能電力」になります。

*7 各モデルに専用ラックマウントキットを標準付属品として同梱します。

*8 本製品スペックはTiFRONT CSシリーズ SPEC v1.0.2を基にしています。

製品スペックは予告なく変更することがありますのでご了承ください。

TiController クラウド管理型システム ソフトウェア仕様 (TiController SPEC v1.0.3)

区分	項目	説明
インストール	ゼロタッチインストール	DHCP及びテザリングによるゼロタッチインストール(ZTI)
	プラグイン	USBポートを使用した設定のインストールとOSアップデート機能を提供
	スイッチ本体でのGUI	スイッチへの設定とOSアップデート
		アップリンクやTiControllerへの設定
		スイッチの設定
	ping, Tracert等のライブツールの提供	
管理	マルチテナント	管理権限に応じた複数のユーザーを管理
	スイッチ管理	スイッチの設定・管理/ポート管理/トラフィック状況の管理
	トラフィック管理	ネットワーク、ポート、ホストなどのトラフィック状況を管理
	地図情報	地図上でスイッチを設置している場所を確認
	ネットワークポロジ	トポロジー図の作成
	ファームウェア	ファームウェアのアップデートをタイマー設定できる
	リモートでの診断	セキュリティログ
		イベントログ
		ライブツール(Ping, Traceroute, ケーブルテスト、スイッチの再起動)
		テクニカルヘルパー
仮想スイッチ設定	TiController上の仮想TiFRONTへ設定を実施し、反映させることができる	
機器交換	交換した機器へ元々使用していた設定を即時反映させることができる	
L2機能	VLAN	VLANの管理
		VLANのID・名前
		スイッチポートへの適用
		タグVLAN
	RPVSTP	Disable/enable
		Bridge priority
		Setting for each VLAN
	ポートの設定	PoE
		フローコントロール(オートネゴシエーション/duplex/Port speed)
		ジャンプフレーム

区分	項目	説明	
L2機能	QoS	QoS 設定可能項目	
		- ポートフィルタリング	
		- TCP/UDP フィルタリング	
		- クラスマップ	
	セルフループ防止	セルフループ防止機能	
ポートミラーリング	ポートミラーリング (1:N)		
リンクアグリゲーション	LACP		
ACL	L2/L3/L4 based filtering		
セキュリティ	フラッディング	TCP syn flooding / TCP ack flooding / UDP flooding / ICMP flooding / ARP flooding	
	ネットワークスキャン	TCP / UDP / ICMP / ARP	
	ポートスキャン	TCP syn / TCP ack / UDP / Stealth	
	プロトコルアノマリー	Land attack / Invalid TCP flags / ICMP fragments / TCP fragments / Smurf attack	
	スプーフィング	ARPスプーフィング / IPスプーフィング	
	SMB trace	SMB trace	
	SMB scan	SMB scan (WannaCry, Petyaの拡散防止)	
	ネットワークの可視化	ダッシュボード	端末・ポートのトラフィック情報
			ネットワークのアラーム / 機器の接続状態 / 機器アラーム / 更新状況
セキュリティレポート		レポート管理	
		スケジュール設定	